

# 人権啓発視察研修



晴天に恵まれた令和5年2月27日(月)に人権啓発視察研修と昼食会場であるこんにゃくパークの見学に参加しました。

世界遺産である富岡製糸場を初めて視察しました。

明治5年に設立された、フランス積み、木骨煉瓦造で建築された建物はとても大きくて窓も多く、広かったです。



建物の中に入ってみると柱も無く、大きな窓からは光が入ってきて思っていたより明るかったです。300釜のフランス式繰糸器が輸入され、工女達が並び、手作業で行われ、品質が安定した生糸を作る事ができるようになっ

第4町会 百瀬 里恵子



公民館に来てくれました。しっかりと挨拶ができて、職員一同かわいい園児に癒されました。

**内田保育園年長さんが来館しました!**

内田保育園の年長さんが、保育園だよりを届けに、内田公民館に来てくれました。しっかりと挨拶ができて、職員一同かわいい園児に癒されました。

# 退任のご挨拶

内田公民館運営委員会  
丸山 信

2年間の内田公民館活動に對して内田地区の皆様には多大なるご協力ご支援を賜り感謝申し上げます。

地区公民館長として何をすればよいか、知識も経験もない私がおかげさまをもちまして、任期を振り返る挨拶をする時を迎えることが出来ました。

令和3年4月より2年間、内田公民館運営委員会長を仰せつかり内田地区の大勢の皆様方はじめ公民館長・主事様又各役員皆様方のご指導を頂きコロナ禍にも関わらず計画を進めることが出来ました。

バス視察研修・内田親睦ゴルフ大会・内田地区球技大会・内田地区文化祭・福祉ひろばまつり、他行事が行われ、内田地区の皆様また明善中学校ボランティアの生徒さんの協



令和5年3月1日現在	
世帯数	997戸
人口	2,306人
男	1,148人
女	1,158人

# 赤羽 保

内田地区体育協会  
赤羽 保

この3月を持ちまして2年間の任期を満了いたしました。何かと至らぬ点もあつたかと存じますが、各町会の体

協理事、スポーツ推進員、公民館長、主事、そして内田地区の皆様のお力添えを賜り、無事に任期を終えることができましたことを心より感謝申し上げます。

今回は、スポーツ推進員の佐藤兼平氏、丸山美幸氏から、「ポッチャ」「ワンバウンドふらばーるバレエ」「ビーンボーリング」「皿まわし」を教わりました。

この2年間には新型コロナウイルスの感染拡大により多くの行事が中止、または延期せざるを得ませんでした。特に内田地区にとつて一大イベントの運動会が任期中の2年間中止となつてしまったことは体協の活動をする立場としても大変残念に思っております。

今年度はむかえ、楽しい体協事業交流が戻ることを願っております。

2年間のご協力ありがとうございました。

力により、多くの方々に参加して頂き親睦がはかられ、地域のつながりを実現する事が出来ました。

時期が進むにつれ各地区でのコロナ禍で自粛ムードの中、内田地区は何か活動を実行しようとする意欲が有りま

この2年間には新型コロナウイルスの感染拡大により多くの行事が中止、または延期せざるを得ませんでした。特に内田地区にとつて一大イベントの運動会が任期中の2年間中止となつてしまったことは体協の活動をする立場としても大変残念に思っております。

今年度は、スポーツ推進員の佐藤兼平氏、丸山美幸氏から、「ポッチャ」「ワンバウンドふらばーるバレエ」「ビーンボーリング」「皿まわし」を教わりました。

総勢20名で楽しくニュースポーツに挑戦することができました。



ニュースポーツ体験会

# 内田地区「市長と住民の『こんだん会』」の開催について

市長が市内35地区に赴いて住民と懇談する広聴事業「市長と住民の『こんだん会』」が、1月20日(金)午後6時から8時10分まで、内田地区福祉ひろばで開催されました。これは昨年5月から始まったもので、月に2〜3回実施され、内田地区は17番目の開催となりました。

市側からは臥雲市長ほか3名の課長が参加し、内田側懇談者は2団体12名、一般傍聴者8名で、合計26名が参加しました。懇談テーマは「どうなる、

どうする、内田地区の将来」人口減少と高齢化に向き合う」です。内田側懇談者としては内田営農と内田地区町会連合会に参加していただきました。いずれも人口減少と高齢化の影響を最も受けると思われる団体です。将来、内田がどうなるのか、どうするべきなのかについて市長と話し合いました。

懇談内容の詳細は、松本市のホームページから閲覧できますので是非ご覧ください。



▲こちらからホームページをご覧ください。



## 内田地区ウォーキング

3月4日(土)内田地区ウォーキングが開催されました。大人13名、子ども12名(内田児童館の利用者含む)で、内田の名所・旧跡を巡りました。

常楽寺、内田のカキ(市特別天然記念物)、クネノ内正八幡宮、秋葉大権現の石碑、馬場家住宅を公民館長の解説付きで見学しました。

馬場家住宅には、様々な形態のおひなさま、明善小学校4年生の作った馬場家住宅の



▼明善小4年生による特別展示(馬場家住宅)

ポスターや模型が期間限定で展示されていました。参加者からは「内田に住んでいても知らないことばかり



▲鐘つき体験

だった。」という声があり、改めて内田の魅力に気が付かされる1日となりました。

## 絵本で学ぶSDGs

1月11日(水)、人権啓発講座「絵本で学ぶSDGs」が内田地区人権啓発推進協議会主催で開催されました。



講師は、SDGs for School 認定エデュケーターの谷口和恵先生です。

22名の参加者からは、「絵本によって、SDGsのことがやっとなかった。」「絵本に癒された。」などの感想がありがとうございました。

紹介された絵本の一部は、協議会より内田公民館へ寄贈していただきました。図書コーナーにあるので、ご興味のある方はぜひ借りて読んでみてください。

### 令和3・4年度館報編集委員

- 第1町会 酒井 洋(全市版担当)
- 第2町会 越智 正行
- 第3町会 横山 博
- 第4町会 青木 道夫(委員長)
- 第5町会 丸山 宏幸
- 第6町会 今福 三郎(副委員長)
- 第7町会 八木澤 拓郎
- 第8町会 丸山 純生
- 第9町会 下川 拓摩

## つれづれ編集記

早いもので、もう2年が経とうとしています。コロナ禍で始まった今期の館報編集委員会、数々の行事が縮小となる中、公民館長そして主事さんのご指導、委員の皆様のご協力もあって、無事任を終える事が出来ました。感謝申し上げます。

また記事に御協力頂いた皆様大変有難う御座いました。委員長として感謝申し上げます。

行動制限が緩和されたこの冬、私は南の島を訪ねる機会がありました。沖縄県久米島と宮古島です。1月は「サトウキビ」の収穫の期で農家は収穫作業の真最中、収穫されたサトウキビは、トラックで工場に運ばれ、搾られて出荷、本土の精糖工場に運ばれ砂糖となります。1本のサトウキビから採れる砂糖は、約3グラムとの事です。

久米島は「泡盛」でも有名です。醸造所を訪ねる事は出来ませんでした。次回機会があれば訪ねてみたい所です。宮古島は宮古諸島の中でも一番大きな島で、トライアスロンが行われる島として有名です。私は、海に架けられた日本一長い「伊良部大橋」を渡り、下地島空港から帰路につきました。この下地島空港は、パイロットの教育訓練空港だったそうです。

そんな空港から2時間15分で信州松本空港に到着。気温差17度の現実引き戻され、旅の終わりを実感。冬は南の島が良いな、と思いました。

第4町会 青木 道夫